

別海町立上春別中学校

地区会議時の思い

生徒会活動の時間の、ゲーム的な活動を通してコミュニケーションを図りたい。

根室管内「行動宣言」を踏まえ、地域の行事で、積極的に挨拶を交わしたい。



取組の概要

【11月】○ 生徒会の各委員会が輪番で、ゲーム的な要素を含む活動を通して楽しくコミュニケーションを図る活動を企画する生徒会活動「MK5」を実施した。当月は、異学年混合のチーム対抗で得点を競う「連想ゲーム大会」を企画した。

○ 生徒会執行部が、登下校の時間帯に「挨拶運動」を実施した。

【12月】○ 別海町西公民館上春別分館事業「クリスマス子どもの集い」に多くの生徒が参加し、地域の方々と積極的に挨拶を交わした。

結果や成果 今後の抱負 感想など

- ・ これまで、あまり話したことがない、異なる学年の生徒と一緒にチームを組み、楽しく「連想ゲーム」に取り組むことができた。また、その後の学校生活でも、会話が増えてよかった。
- ・ 当初、地域の方々との挨拶は緊張したけど、笑顔で挨拶を返してくれて、気持ちよかったので、今後も、町で会った際など挨拶したい。
- ・ 今後も、「どさん子☆子ども根室地区会議」等への参加をとおして、他校の効果的な取組を参考に、本校の人間関係づくりの取組の充実を図りたい。

別海町立上春別中学校

〈 取組概要 〉

- 生徒会スローガン「自ら感じ、考え、行動する生徒」の下、生徒会執行部が中心となり、全校生徒が気持ちよく登下校することをねらいとした「挨拶運動」や生徒同士の「絆づくり」に向けた「MK5（エム ケイ ファイブ）」、全校生徒・保護者・教職員の願いを集約し、5つの視点に整理した生活習慣の改善の指針「やってみYo! FIVE LIFE」を策定するなどの取組を推進している。

〈 具体的な取組内容 〉

- 1 全校生徒が気持ちよく登下校することをねらいとした「挨拶運動」

「どさんこ☆子ども根室地区会議」に出席した生徒会執行部の生徒が、他校の取組内容を参考に発案し、登校時の20分間、下校時の10分間において、計画的・継続的に実施している。



- 2 異学年交流の場「MK5」の時間を活用した「絆づくり」

「自ら（M）感じ（K）考え（K）行動（K）する生徒」に、全校生徒が学校生活で輝くイメージ「キラ（K）キラ（K）」を加えた「MK5」のネーミングは、生徒会執行部によるものであり、総下校までの15分間の「MK5」では、全校生徒の絆を深める「全校遊び」等を実施している。

- (1) 第1回は、生徒会執行部が担当し、全校生徒が「いじめのない学校生活」や「3分前行動」等の本校の取組に対して理解を深める「『上春中スタンダード』に関するクイズ大会」を実施し、生徒は、楽しみながら関わり合いを深めた。
- (2) 第2回は、生活保健委員会が担当し、異学年混合のグループ構成で「早寝・早起き・朝ご飯」や「スイッチオフ22」等の生活習慣の改善に関わるカルタを用いた大会を実施し、楽しみながら勝敗を競った。

- 3 「やってみYo! FIVE LIFE」の作成による生活習慣の改善の取組の推進

保護者参観日に、子どもたちの生活習慣の改善について、生徒、保護者、教職員が協議する「オール上春中集会」を開催した。

- (1) 生徒指導主事が、スマートフォンの利用状況等、毎月実施の「生活習慣アンケート」の結果の推移を説明した。その後、生徒、保護者、教職員は、「現状と理想の生活習慣のギャップを埋めるために、『自分で改善できること』『家庭や地域で取り組めること』」等を協議した。
- (2) 生徒会執行部は、「オール上春中集会」で出された意見を踏まえ、5つの視点に整理した「やってみYo! FIVE LIFE」を作成した。

〈 成 果 〉

- 全校生徒が、互いに臆することなく、爽やかな挨拶を交わすようになり、これまで以上に、校内に明るい雰囲気醸成することができた。
- 「『MK5』は、他の学年の生徒と交流できて楽しかった」などの声が聞かれるとともに、新たに「体力向上の取組」が企画されるなど、生徒会活動を活性化することができた。

〈 課 題 〉

- 「やってみYo! FIVE LIFE」はもとより、「挨拶運動」や「MK5」などの取組の成果と課題を明確にし、生徒会主体の取組となるよう意図的・計画的に生徒に対して働きかける必要がある。